

「心臓リハビリテーション認定医・上級指導士制度」 制度創設の趣旨

このたび日本心臓リハビリテーション学会は新たに、「心臓リハビリテーション認定医・上級指導士制度」を創設します。本学会は2000年に心臓リハビリテーション指導士制度を創設しましたが、上級資格の創設はその当初から想定されていたものです。「心臓リハビリテーション認定医・上級指導士制度」は、心臓リハビリテーション指導士資格保有者のうち、心臓リハビリテーションプログラムを管理・運営・統括する能力を備え、わが国の心臓リハビリテーションの質の向上と普及・発展に積極的に取り組む意欲を持ち、この分野において一定以上の実績を有する者に対して、医師には「認定医」、医師以外の者には「上級指導士」の資格を認定し付与する制度です。

この「心臓リハビリテーション認定医・上級指導士制度」の創設の結果、各施設で心臓リハビリテーションプログラムが適切に管理・運営・統括されるとともに、全国レベルで「標準プログラム」、「レジストリー制度」、「地方支部制度」(後述)が積極的に推進されることにより、わが国の心臓リハビリテーションの質の向上と普及が期待されます。またこの制度は、指導士および若手会員に対する教育指導や人材育成にも有効と考えています。さらに医師においては、認定医制度を設けることにより若手医師の心臓リハビリテーション領域への参入が促進されることが期待されます。

2015年1月現在、約3300名の心臓リハビリテーション指導士が認定され、その職種別内訳は医師が約800名、看護師が約500名、理学療法士が約1500名、臨床検査技師が約300名です。現時点での見込みとして、これらの指導士のうち、医師の70~80%、それ以外の職種の10%程度、全体として約1000名程度(各施設1~2名程度)が認定医・上級指導士資格保有者となることが質の担保から考えて妥当と推算しています。

本学会は、2014年には心臓リハビリテーションの質の向上のために「急性心筋梗塞心臓リハビリテーション標準プログラム」を公表するとともに、わが国における心臓リハビリテーションの実態把握とエビデンス構築のために「心臓リハビリテーションレジストリー制度」を開始しました。さらに2015年には全国9つの地方支部における地方会開催をめざしています。「心臓リハビリテーション認定医・上級指導士制度」で認定された認定医・上級指導士がこれらの活動の積極的な推進役になり、今後のわが国の心臓リハビリテーションのさらなる発展に貢献することを期待し、この制度を定めるものです。

2015年2月24日

日本心臓リハビリテーション学会

心臓リハビリテーション認定医・上級指導士制度部会